

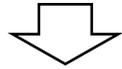
若葉区での支え合い活動と 若葉区の魅力について

1. 現状と課題

①若葉区の人口の見通し

平成22年度を基準に推計

平成22年 約151,000人

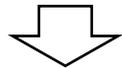


平成42年 約127,000人

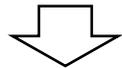
※ 約20年後には24,000人減少

②若葉区の高齢化率の見通し

平成22年 23.9% (4人に1人)



平成32年 34.5%



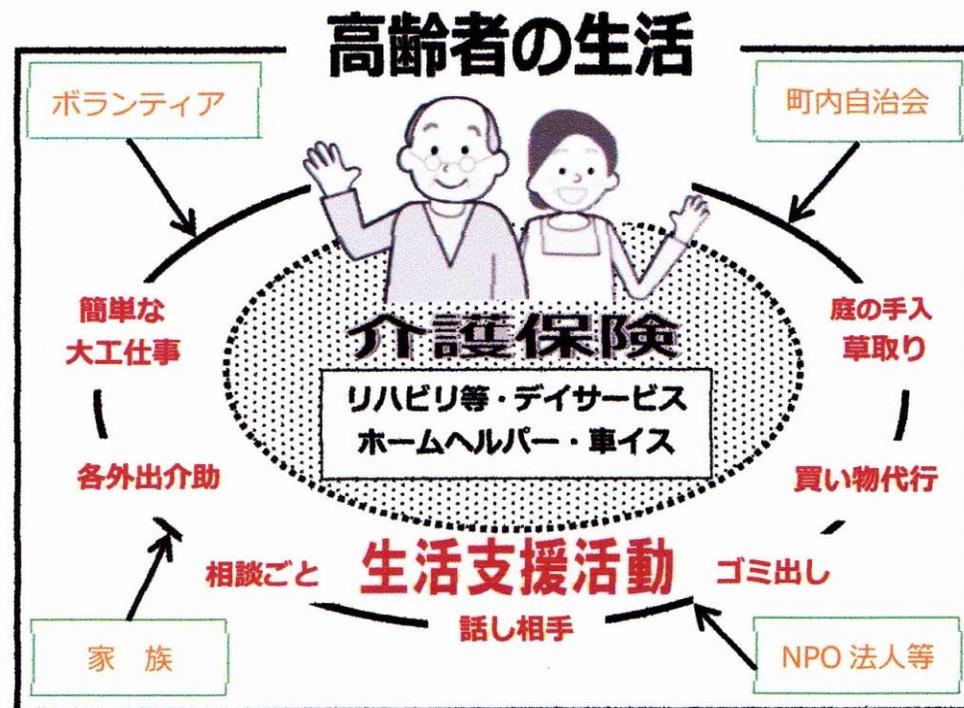
平成42年 37.6% (3人に1人以上)

③人口減少や少子超高齢化が進む中で、市民ニーズに的確に対応するためには、行政による取り組みだけでは限界があります。

2. 高齢者の支え合い活動について

- 高齢者が生活していく上では、介護保険が適用されない各種の生活支援や見守り活動が必要になります。

- これからは、地域活動（支え合い活動）等を積極的に実施し、こどもから高齢者に至る区民一人ひとりが支え合いながら「区民主体のまちづくり」に取り組んでいくことが必要不可欠となります。



高齢化の進展が著しい若葉区では、
「高齢者の支え合い活動」を早急に行う必要があります。

3. 高齢者の支え合い活動を実施しなかった場合

こんなことが想定されます・・・

- ① これからは高齢者が多くなり、社会福祉協議会、民生委員だけでは、対応が困難になります。また、すべての住民サービスを行政のみで対応することは、財政難や人員削減等からも大変難しくなります。地域でできることは地域で行う必要がでてきます。
- ② 少子超高齢化により、介護される人が多くなる一方、人口も減少し介護する人も乏しくなり、介護される人に対する支援も厳しくなることが予想されます。
- ③ 地域での「孤独死」が増加し、その地域の土地等の財産価値が下落するほか、まちの空洞化や空家による防犯面の問題などの社会現象が生じます。

4. まず何から始めるか？

まずはできることから始めましょう。
何か行動を起こすことが重要です！！

- アンケートなどを実施し、地域住民のニーズを把握しましょう。
⇒ 地域の高齢者が何を必要としているのか。
利用者・協力者はどのくらいいるのか。など…
- 他の自治会が行っている活動事例を参考に、まちの環境や地域性などを考え、地域に最もふさわしい活動から行ってみましょう。

地域振興課地域づくり支援室や社会福祉協議会が支援します！

5. 高齢者支え合い活動等の好事例

- **愛称「安心ネット」** ～ 桜木町内会 ～
庭木の手入れ・簡単な大工仕事・電球の交換・朝のごみ出し等、日常生活の手助けを行う。
- **お元気確認制度** ～ いずみ台ローズタウン自治会 ～
地域内で孤独死を出さないための見回り活動。
- **高齢者配食サービス** ～ 大宮地区ボランティアの会 ～
食事（弁当）を届け、高齢者と顔を合わせて声をかけることによる見守り活動。
- **買い物支援事業** ～ 加曽利町新和自治会 ～
ひとり暮らしで車の運転ができない高齢者等の買い物を代行。
- **通学パトロール** ～ いずみ台ローズタウン自治会 ～
小中学校の登下校に際して、子ども達が犯罪・交通事故等に遭遇しないように、元気な高齢者が、通学パトロール隊を組織して見守る体制。
- **子育てサークル** ～ CHI-PAPPA チーパッパ ～
主に就学前の母子が集まり、子育て相談・情報交換・自然とのふれあい体験等を行う活動。



6. 高齢者支え合い活動 その他の事例

- 安心カードの配布

緊急時に備え個人情報を入力したカードを高齢者が保管。

- いきいきサロン

高齢者が孤独にならないよう仲間作りを行う。

- グランドゴルフ大会

楽しみながら健康増進。

- 敬老会

高齢者を敬い、長寿を祝う。

- 公園掃除等

健康増進を兼ねて、高齢者も社会貢献活動。

- 防犯パトロール

ウォーキングパトロール、自転車パトロール、セーフティウォッチャー等犯罪抑止活動。



7. 若葉区の魅力

支え合い活動が様々な地域で実践されると安心して暮らせるまちになります。また、若葉区は住んでいてよかったと思える魅力がたくさんあります。

【若葉区の魅力】

- **地震に強い**

⇒ほとんどの地域で液状化や津波の心配はありません。

- **豊かな自然環境と歴史・文化遺産を保有、農業も盛ん**

⇒加曽利貝塚博物館（国の特別史跡指定にむけて動いています）

⇒市民農園や観光農園が充実しており、豊かな自然に

「やすらぎ」や「うるおい」を求める人が増えています。



定年退職後の第2の人生《スローライフ》

若葉区で、ほどほどの田舎暮らし

8. 若葉区の取り組み

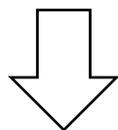
【若葉区魅力伝承事業】

- ・ 魅力伝承サポーター、魅力再発見ウォーキング、
駅からハイキング
区民一人ひとりが若葉区の魅力について再認識してもらう。
⇒区民参加型の情報発信手段や、魅力再確認の仕組みを構築
- ・ 中学生が作るページ（こども向け情報サイト）
中学生が主体となり、地域の魅力、役に立つ情報について
ウェブサイトを作成。
⇒子どものうちから、生まれ育った若葉区に対する愛着を醸成

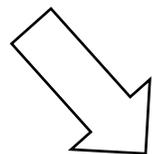
若葉区の魅力について
情報発信に取り組んでいます！

9. 住んでいてよかったと思えるまち

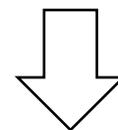
地域、町内自治会などで
支えあい活動が充実した環境



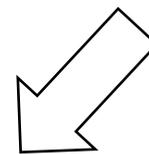
安心して生活できる



豊かな自然環境と歴史・農業
などの地域資源



若葉区の魅力認識、愛着



子供からお年寄りまで幅広い世代が、
住みたい、住んでいてよかったと
思える若葉区に

若葉区役所地域振興課 地域づくり支援室
〒264-8733 千葉市若葉区桜木北2-1-1
【TEL】 043-233-8122 【FAX】 043-233-8162
【e-mail】 chiikidukuri.WAK@city.chiba.lg.jp

千葉市社会福祉協議会 若葉区事務所
〒264-8550 千葉市若葉区貝塚2-19-1
【TEL】 043-233-8181 【FAX】 043-233-8171